

入札説明書等に対する質問回答書

赤谷林道災害復旧工事(R7補正)

No.	質問事項	回答事項
1	『公表用設計書 17頁 (11号明細書 15頁)』において、基礎碎石の規格が7.5cm以下となっていますが、図面 16頁(管渠埋設標準図)では、厚さは0.30mとなっています。規格の選択間違いと思われるので、確認していただき回答願います。	ご質問のとおり、コルゲートパイプの基礎碎石の厚さは0.30mとなります。 契約後、設計変更にて対応いたします。入札におきましては、現在公表されている設計書にて積算をお願いします。
2	『公表用設計書 20頁 (14号明細書 18頁)』において、型枠の数量が100m2当り1.09m2となっていますが、この型枠が目地材設置部分の型枠とすると、目地材と同じ数量になる為、100m2当り1.9m2ではないか思います。ご確認いただき回答願います。	型枠の数量の誤謬です。型枠の数量は100m2当り10.9m2となります。 なお、目地材設置部分の型枠は計上しておりません。 契約後、設計変更にて対応いたします。入札におきましては、現在公表されている設計書にて積算をお願いします。
3	同じく『公表用設計書 20頁 (14号明細書 18頁)』において、コンクリート路面の両側及び起終点の型枠が数量計上されていないように見受けられます。図面 10頁の参考図から、コンクリート路面工の延長は124.5m、平均幅が4.2mであることから、コンクリート路面両側の型枠は $124.5\text{m} \times 0.15\text{m} \times 2 = 37.35\text{m}^2$ 、起終点の型枠は $4.2\text{m} \times 0.15\text{m} \times 2 = 1.26\text{m}^2$ となり、総数量で $37.35\text{m}^2 + 1.26\text{m}^2 = 38.61\text{m}^2$ の型枠が必要になると考えられます。この型枠数量が計上されていないことが不明な為、ご確認いただき回答願います。	型枠の数量の誤謬です。型枠の数量は100m2当り10.9m2となります。 契約後、設計変更にて対応いたします。入札におきましては、現在公表されている設計書にて積算をお願いします。
4	『公表用設計書 44頁 (23号代価表(42頁))』において、締固めの数量が100m2当り1m2となっていますが、100m2当り100m2の間違いではないかと思われるので、ご確認いただき回答願います。	ご質問のとおり、締固めの数量は100m2当り100m2となります。 契約後、設計変更にて対応いたします。入札におきましては、現在公表されている設計書にて積算をお願いします。